

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」新石切駅前校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法礼遵守で適切に行っている。	
	②	職員の配置数は適切である	○		法礼遵守の確保はしている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		スケジュールボードの活用・シンプルな空間設定	段差があることをわかりやすくするため、カラーテープを貼るなど工夫を検討する。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		清掃・消毒・整理・整頓の徹底	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		朝礼・会議等	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表を元に保護者の意向等を聞き取る	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPにて公開・教室内掲示・LAIN等からの発言	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			外部評価の位置づけはないが常時要望を聞き業務改善に努めている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		新任研修・定例研修・テーマ研修・事例研修等を年間計画に従って、全員参加。ZOOM・対面による研修	
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者・相談支援事業所等の情報をもとに支援計を作成	今後も、情報交換・意見交換を行い、課題の分析、充実した支援提供につながる計画作成に努める。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		統一したアセスメントシートを、利用している。	4月（進級・進学等）に保護者へのアセスメントを実施している。

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		アセスメントをもとに長期目標・短期目標を設定した計画を立て、具体的な支援内容を設定している。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		振り返り等で共有	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		会議において立案	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		新しい課題を徐々に挿入している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		月に1~2回集団SSTを実施し、その状況を参考に支援計画を作成している。	現在在籍が4名なので児発を増やしていくことが課題である。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼を行い確認している。	今後も、いつでも意見交換や情報交換ができる職場環境づくりに努める。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		可能・かつ緊急の場合はその日に、それ以外は、事例検討会議を行っている。	今後も、いつでも意見交換や情報交換ができる職場環境づくりに努める。
関係機関や保護	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援記録を詳細に取り、支援の改善充実につなげている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月に1回を原則（児童の状況に応じて1か月もあり）としてモニタリングをしている。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者・担当者が参画（今年度は書面もあり）している。	支援の時間と重なることが多く指導員の参加が難しいときが多いのが課題。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		要望・必要に応じて情報共有ができる体制を構築している。	定期的な取り組みに至っていないのが課題。

者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		現在当該利用者がいないが、必要な場合は関係機関との連携をしていく体制はできている。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		現在当該利用者がいないが、必要な場合は関係機関との連携をしていく体制はできている。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	保健センターや市の子育て支援機関との連携に努めている。	定期的な取り組みに至っていないのが課題。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	要望・必要に応じて、情報共有ができる体制を構築している。	要望・必要に応じて情報共有ができる体制を構築する。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修や助言を受け入れる体制を構築している。	
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		要望があれば実施したい。今後も検討していきたい。
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	機会があれば参加している。	
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		フィードバックの時間を利用し共通理解を図っている。	
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	保護者からの相談に対応したり、子育て支援のアドバイスを適宜実施している。	パパ・ママカフェ等の機会に集団での学びを家庭に持ち帰って実践できるような機会をつくっていきたい。
保護者への説明責	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		説明書をお渡しし契約時に丁寧な説明を行っている。	
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		6か月に1回説明し書面にて同意を得ている。	

任 等	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じその都度実施。	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		要望があれば検討したい。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		事業所内相談支援等必要に応じて適時実施している。	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		1ヵ月に1回以上プロブ・書面等で発信している。	
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	○		契約時に保護者に説明し取り扱いには注意している。	
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		要望等あれば今後検討していきたい。
非 常 時 等 の 対 応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを作成し、教室内に掲示周知している。また防災計画を立案し訓練を毎月実施している	
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		同上 飲料水・食料備蓄も行っている。	
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		フェイスシート・アセスメントシートにて確認している。	
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		保護者からの聞き取りをしている。要望があれば指示書に基づいて対応する。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		報告書を作成しファイリングして共有。	
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		マニュアル作成・定期的な研修を実施している。	

④7	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している</p>	○	<p>現在やむをえず身体拘束が必要な児童はいない。契約時に十分な説明をしている。該当者があれば個別の支援計画の特記事項にも記載。</p>	
----	---	---	--	--

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新石切駅前校

保護者等数（児童数）：4（4） 回収数：4

割合：100 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	3	1	0	0	法礼遵守の確保はしている。	新任研修・定例研修・テーマ研修・事例研修等を年間計画に従って全員参加。ZOOM・対面による研修や、職員間のミーティングをすることで専門性にばらつきがないように努めている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	0	0	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3	1	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2	1	0	1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	0	0	1		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	1	3	0	0		指導員同士が話し合い、プログラムが固定されないように話し合いを行っている。そのた

								め利用者のためのオーダーメイドの療育を行っている。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	0	1	2		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	2	1	0	1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	1	1	0	2		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	1	3	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1	1	1	1		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	0	2	1		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	1	1	0	2		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3	1	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3	0	0	1		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	3	1	0	0		PCにスクリーンセーバーをかけた後、席を外すときにPC画面を少し閉じて、直接画面が見えないように心がける。
非常時等	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3	1	0	0	換気を徹底して欲しい。	換気は利用が終わったときなどに、指導員がその場にいるときに適宜している。ビル5階

の 対 応								で安全性のことも考慮しないといけないので、換気扇やサーキュレーターを動かし、感染予防に努めている。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	1	0	1		
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	4	0	0	0		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	2	1	0	1		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。